

カイコに学ぶ

秋山 幸也

※相模原市立博物館学芸員



その4

カイコを知ろう

① 体の形と模様 もよう



①カイコの目はどれ？

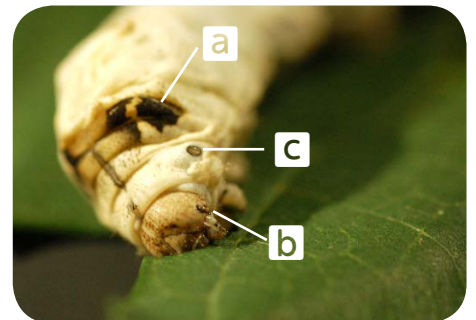
右のカイコの写真を見て下さい。このなかにはカイコの目がありますが、どれだと思えますか？多くの人は、**a**の部分が目だと思っているようですが、違います。

カイコは昆虫なので、体は頭、胸、腹に分かれます。幼虫でもそれは同じで、カイコの体の分け方は下の図のようになります。

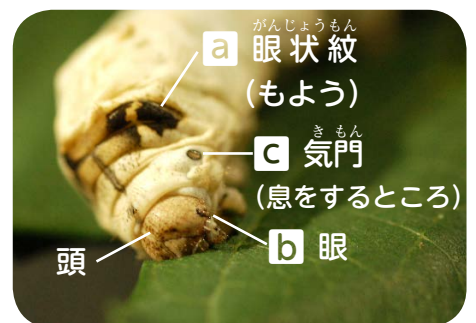
●...腹 ●...胸 ●...頭 カイコの体の分け方



カイコの目はどれ？
(頭部の拡大)



こたえ



昆虫の目は頭にあるはずなので、正解は**b**です。**a**は眼状紋という模様です。目のように見えるこんな模様がどうしてあるのかということについては、あとでお話します。そして、**c**は気門といって、呼吸をするための穴です。

② 単眼と複眼

ところで、カイコの目はいくつあるでしょう。昆虫の目というと、複眼といって多数の目が集まってできているので、数えきれないくらいあるように思われることもあります。それはチョウの仲間の場合、成虫だけの特徴です。

幼虫であるカイコは複眼ではなく、単眼です。片側に3つ、両側合わせて6つの単眼があります。

③ 足はいくつ？

昆虫の足がいくつかなんて、理科の教科書にも書いてあるので、きくまでもないことかもしれませんが、でも、下の写真を見て下さい。足はいくつあるでしょうか。

カイコ正横全体



葉につかまっている
モンシロチョウ



写真で足のように見えているものは、片側だけで少なくとも7つあります。これが反対側にもあるので、合計で14あることになります。昆虫なのに、どうしてなのでしょう。

カイコをはじめとして、イモムシは幼虫のときに細長い体を支えるために、腹にも足があります。成虫は胸部だけに両側に6つあり、幼虫の足の前側6つがこれにあたります。腹の8つは、体を支えて枝や葉につかまるための「腹脚」といって、幼虫だけにあるものです。

こうした特徴は、野生のモンシロチョウやアゲハチョウでも同じように見られます。カイコは昆虫だから足は6本、なんて思い込んでみると、思わぬ落とし穴がありますね。

→その5

カイコを知ろう

② 成長と脱皮